

新聞・雑誌から見る現代日本

しんぶん ざっし み げん だい に ほん

■ 第29回 ■

だい かい

ロボット開発の今

かい はつ いま

このコーナーでは、新聞・雑誌の記事を通して現代日本事情の紹介をするのと同時に、日本語を教える先生方が新聞・雑誌の記事などの生教材をどうやって教材化し、中・上級の日本語の授業にどう活用できるかを提案していきます。今回はロボットに関する記事を取り上げ、実際の教室活動の流れにそって質問と記事を提示しました。

「読む前に」の部分は、記事に関する背景情報を提供することで、学習者がいきなり記事を読むのではなく、読む準備ができるようにすることを目的にしています。「読む前に」の質問は、学習者が話題に関してどんな情報やイメージを持っているかを引き出したり話し合ったりすることで、記事を読む意欲を高めることを狙っています。

「読もう」の部分は、ざっと目を通して大意を把握したりキーワードを取り出したりする大まかな読み方や、表現や構文を押さえて読む精密な読み方が含まれます。この部分の質問は、読み進めていく過程で必要なストラテジーの意識化を促しています。

「読んだ後で」の質問は、学習者が読んだ記事の内容を整理し、自分の頭の中に作り上げたイメージを表現したり記事への反応を他の学習者と交換したりできるようにすることを目的にしています。

読む前に

みなさんは「ドラえもん」を知っていますか。

日本を代表するアニメマンガで、世界のいろいろな国でテレビ放映されたり、翻訳版が出版されたり、長編映画も作られたりしているので、目にしたことがある人も多いかもしれません。ネコ型ロボットのドラえもんが初めて登場したのは1969年のことですが、実は、ドラえもんは22世紀の未来の国から来たロボットです。スイッチひとつで空を飛べる“タケコプター”や、行きたいところへすぐに行ける“どこでもドア”などの便利な道具で、困っている人や弱い立場の人をいつも助けてくれます。

ドラえもんが誕生して40年になろうとする今、私たちをとりまくロボットの世界もずいぶん変わりました。近年の急速な技術発展によってロボットは進化し、もはや本やテレビの中だけの存在ではなく、私たちの生活に影響を与えることも増えてきています。中には仕事や生活においてロボットなしで活動することは不可能だという人もいます。今回は、

夢物語ではなくなったロボットの開発に関して、日本経済新聞に掲載された2008年2月の記事を読んでみることにしましょう。

質問1: 「ドラえもん」のほかに、みなさんはどのようなロボットを知っていますか。本で読んだり、見聞きたりしたロボットについて、クラスで話し合ってみましょう。

読もう

質問2: この記事にある「kansei」は、どんなロボットですか。それをもっともわかりやすく表している12字の言葉を記事からぬきだしてみましよう。

質問3: 「kansei」という名前がつけられたのは、どうしてだと考えられますか。本文の言葉を使ってその理由を答えてみましょう。

日本経済新聞（夕刊） 2008年2月27日
にほんけいざいしんぶん ゆうかん ねん がつ にち

第1面「顔が伝える目で語る2」
だい めん かお つた め かた

『日本語教育通信』61号9ページに掲載している記事は、著作権の関係で
にほんごきょういくつうしん ごう けいざい きじ ちよさくけん かんけい
ホームページへの掲載ができません。

このページをご希望の方はjfnckt@jpf.go.jpまでご連絡ください。
このページを きぼう かた がいどう れんらく

2009年5月まで、ご希望の方に該当ページを送付します。
ねん がつ きぼう かた がいどう そうふ

質問4: 「kansei」はどのようなことができるロボットですか。次のア～カについて、○×で答えなさい。

- ア () パソコンのキーをたたいて文字を入力することができる。
- イ () 入力したキーワードに応じて、その言葉を口で言うことができる。
- ウ () 一つのキーワードから様々な単語を連想し、表情を変えることができる。
- エ () 120万のウェブサイトから50万の単語を選択することができる。
- オ () 入力したキーワードの意味を踏まえて、36種類の表情を示すことができる。
- カ () 人間並みに皮肉やジョークを理解することができる。

質問5: 「kansei」の開発目的と表情を変える多くのロボットの開発目的はどのように違いますか。それぞれの開発目的について述べている表現を記事から探して書いてみましょう。

kanseiの開発目的:

kansei以外の多くのロボットの開発目的:

質問6: この記事は8つの段落から成っています。段落のつながりを考えると、文章の構成は次のア～エのどれだと考えられますか。

- ア ①—② ③—④—⑤ ⑥—⑦ ⑧
- イ ①—②—③—④ ⑤ ⑥—⑦—⑧
- ウ ① ②—③—④ ⑤—⑥ ⑦—⑧
- エ ①—②—③ ④—⑤ ⑥ ⑦—⑧

質問7: 開発者は「kansei」をこれからどのようにしたいと考えていますか。記事の中から探して書いてください。

読んだ後で

質問8: これからの時代、みなさんはどのようなロボットが必要だと思えますか。話し合ってみましょう。

<解答例>

質問1: (省略) 質問2: 感情を表現する顔ロボット (12字) 質問3: 鋭い感性の持ち主だから

質問4: ア…× イ…× ウ…○ エ…× オ…○ カ…×

質問5: kanseiの開発目的: (人間の)意識の仕組みの解明のため

kansei以外の多くのロボットの開発目的: 親しみやすい人型ロボットを実現するため

質問6: エ (①—②—③)は、kanseiがどのようなロボットであるかの説明。④—⑤は、kanseiの作られた目的について。⑥は、kanseiの豊かな表情の具体的説明。⑦—⑧は、kanseiの今後。

質問7: 人間並みに本音と建前に応じて表情を変えられるようにしたい 質問8: (省略)

参考ウェブサイト

- ・ロボット大集合 <http://www.business-i.jp/news/robo-page/>
- ・ロボット | wired vision <http://wiredvision.jp/news/theme/robot/>
- ・ロボットステーション <http://www.robot-station.net/>
- ・からくり人形とロボット 特集・レポート 科学技術 全て伝えます <http://scienceportal.jp/reports/robbot/>
- ・ドラえもんチャンネルへようこそ <http://www.dora-world.com/>

今回取り上げたテーマや練習案についてのご意見をお待ちしています。また、今回の記事を使って授業をしたときの様子や結果などを編集部までお寄せください。このコーナーの担当: 境田 徹、浜田盛男 (関西国際センター日本語教育専門員)